

平成23年2月25日
独立行政法人森林総合研究所
林木育種センター東北育種場

材質の優良なスギ品種を開発しました — スギ木材の利用拡大に役立てます —

1. 概要

独立行政法人森林総合研究所林木育種センター東北育種場（以下「東北育種場」という）では、より強度の高いスギ建築用材（製材・集成材ラミナ・合板）の利用拡大に伴い、強度の優れた品種系統への需要が高まっていることに対応するため、検定林等における成長や材質特性の調査・評価を行い、材質の優良なスギ品種の開発に取り組んできました。

そして今回、山形県、新潟県と連携し日本海側に適した材質優良スギ品種として、2品種を開発しました。

2 開発品種の特徴と開発までの経緯

1) 開発品種の特徴（品種名及び選抜地）

樹種	選抜地	品 種 名
スギ	山形県	材質優良スギ 精英樹 東南置賜 3号
	新潟県	材質優良スギ 精英樹 東蒲原 6号

2) 開発までの経緯

①材質評価方法の開発

平成13年度から平成17年度までの間に、ファコップを用いて立木状態でスギのヤング率を推定できる方法を開発しました。

②材質調査・データ解析

平成18年度から平成21年度までの間に、東北育種場で検定林におけるファコップを用いた材質調査を実施、その調査データを解析し、基準を越えたものを合格木としました。

③優良品種としての評価

平成23年1月19日の独立行政法人森林総合研究所林木育種センター優良品種評価委員会で材質等について評価しました。

平成23年2月8日に独立行政法人森林総合研究所林木育種センターが材質優良品種として認定しました。

3. 今後の取り組み

強度に優れた建築用材の需要に応えるよう、開発した品種を用いた採穂園や採種園の造成・改良を計画している県へ原種の配布や技術指導を行っていきます。

また、今後は太平洋側に適した品種の開発を行います。

(用語解説)

- ・ファコップ：樹幹の軸方向にスタートセンサーとストップセンサーを取り付け、スタートセンサーを打撃して応力波を発生させ、センサー間の応力波の伝播速度を測定する機器。
- ・採種園：苗意義の生産に必要な種子を採取するために設けられた樹木園。
- ・原種：開発した品種そのものの特性を維持しつつ増殖したもの。

写真 材質優良スギ 2品種



材質優良スギ品種
精英樹 東南置賜 3号



材質優良スギ品種
精英樹 東蒲原 6号

問い合わせ先 森林総合研究所 林木育種センター東北育種場
担当：育種課 星、宮下久哉
電話：019-688-4518